

産科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] MRIによる胎児骨盤内消化管評価についての後方視的研究

[研究機関] 北海道大学病院 産科

[研究責任者] 山田 俊（産科・助教／診療准教授／病棟医長）

[研究の目的]

胎児のMRI検査で胎児の腸管は、特定の条件のもとで周囲と区別されて白い帯状に描出されます。このことは、骨盤内の消化器系・泌尿器系の奇形を診断する際に重要なのですが、妊娠週数によってどのように正常像が変化するか、ほかの消化器系・泌尿器系の奇形がある場合には性状が修飾されるかについて、詳しいことは知られていません。当院で様々な理由でおこなわれた胎児MRI画像を振り返り、このような視点で再解析することによって、骨盤内の臓器に異常を持った胎児の診断精度を向上するのに有用な知見を得ることが本研究の目的です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成17年1月1日から平成22年10月31日の間に当院にて分娩した方のうち、胎児MRI検査を受けた方。ただし、期間を平成22年12月31日まで延長する可能性があります。

●利用するカルテ情報

対象について、以下の項目の調査をおこないます。

①MRI検査時の胎児診断 ②MRI検査時の妊娠週数 ③胎児数 ④T1強調画像(MRIの撮像条件です)における直腸・S状結腸の信号強度と径、形状 ⑤膀胱(または骨盤内嚢胞)の信号強度と径、形状 ⑥羊水過多・過少の有無 ⑦胎児水腫(皮下浮腫)の有無 ⑧胎児腹水の有無 ⑨その他の腹腔内異常所見の有無 ⑩新生児の最終診断と転帰あるいは死産児の剖検所見

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目
北海道大学病院産科 担当医師 山田 俊
電話 011-706-6051 FAX 011-706-7981